



富士急行株式会社

第 111 期 || 近況報告

2011.4.1 ▶ 2011.9.30

高飛車
フコビヤ

一台で、陸と水上から
富士山と山中湖の大自然を
“五感”で体感しよう。



CONTENTS

ごあいさつ	1	事業別概況	6
FujiQ News	2	連結財務諸表	8
・「富士山駅」誕生		単独財務諸表	10
・富士急ハイランド「高飛車」オープン		会社概況／株式情報	11
・「YAMANAKAKO NO KABA」運行開始		株主優待のご案内	12
・主な新規施設			



株主のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災で被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、東日本大震災により深刻な影響を受けた経済活動や個人消費に回復の兆しが見られたものの、長引く円高や株式市場の低迷などにより先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、レジャー・サービス事業で今夏、富士急ハイランドに5年ぶりの大型設備投資である最大落下角度世界一（ギネス記録認定）のローラーコースター「高飛車」を導入し、好評を博しました。さらに富士南麓のゆうえんちぐりんぱでは、「ピカソのタマゴ」に新たな5種類のアスレチックを追加し、また、さがみ湖リゾートプレジャーフォレストでは、首都圏最大級のデイキャンプ場「ワイルドクッキングガーデン」・迷路のテーマゾーン「森の迷路」を導入し多くのお客様にご来場いただきました。

運輸事業では、7月1日に富士吉田駅の名称を富士山駅に変更し、駅施設の一部をリニューアルする

とともに、富士吉田市や商工会議所、地元商店街等と連携し、地域の活性化に取り組みました。さらに、山中湖エリアで水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」の運行を開始し、多くのお客様から好評を博しました。

震災直後からの大幅な市場環境の悪化を受け、当社グループは積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりましたが、連結売上高は225億58百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は17億95百万円（同28.4%減）、四半期純利益は9億81百万円（同0.7%増）となりました。

下半期におきましても、引き続き厳しい状況が続くものと考えられます。このような状況の中、当社グループは、引き続き「いつも『喜び・感動』」の経営理念のもと、「夢・喜び・快適・やすらぎ・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。また、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、「これから先も富士と共に生き、富士山を守っていく」という決意を胸に、地域社会に貢献し、企業としての社会的責任を引き続き果たしてまいる所存でございます。株主のみなさまには、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月
代表取締役社長 堀内 光一郎

FujiQ News

「富士山駅」 誕生!!

平成23年7月1日に富士急行線 富士吉田駅の名称を変更し、「富士山駅」が誕生いたしました。

デザイナー水戸岡鋭治氏の全面的なサポートのもと、信仰登山の象徴の一つである北口本宮富士浅間神社の鳥居に倣った駅入口の鳥居や、富士の眺望を楽しみながらくつろぐことができる屋上展望広場などを整備し、駅を起点とした二次交通の充実や着地型旅行商品の情報集約を行うなど、「富士山に一番近い鉄道」の富士山の玄関口として、リニューアルいたしました。



▲ 富士山駅 入口

PICK UP



▲ ターミナルビル屋上



▲ プラットフォーム



▲ 富士山駅売店

■ ターミナルビル屋上

駅周辺では最も高い建物であるターミナルビルの屋上部分には、ウッドデッキにベンチやテーブル、緑の植栽を配した「富士山展望デッキ」を設置しました。左右に大きく裾野を広げた秀麗な富士山の姿を、遮るものなく正面に望むことができます。

■ 富士山駅売店「ふじやま屋」

「富士山麓の恵みを集めたいちば」をコンセプトに、駅コンコース内の売店をリニューアルしました。富士山周辺の地場商品を中心として、「富士山ごうりきうどん」「富士山はちみつチーズケーキ」などのオリジナル商品も展開しています。また、富士登山やハイキングをサポートするグッズも取り揃えています。

FujiQ News

富士急ハイランド 高飛車 オープン

富士急ハイランドに総工費約30億円の新・大型ローラーコースター「高飛車(たかびしゃ)」を導入し、今夏7月16日にオープンいたしました。これにより「FUJIYAMA」「ドドンパ」「ええじゃないか」と合わせ富士急ハイランドに「4大コースター」が揃います。



▲ 高飛車

PICK UP



▲ 巻き上げ・停止・落下

■ 垂直巻き上げ

空を見上げるような姿勢で約43mのタワーを一気に垂直上昇します。

■ 落下姿勢での一時停止

垂直巻き上げ後、下がり始めると落下姿勢のまま一時停止します。

■ 世界最大121度の落下角度

垂直巻き上げから一時停止後に世界最大121度の落下角度でえぐるように落下します。



最大落下角度121度がギネス世界記録™に認定されました。

これは7月7日にギネス・ワールド・レコーズ・ジャパン™のカルロス認定員自らの試乗により正式に認定されたもので、7月8日開かれたプレス向け発表会の場において、フランク・フォーリー社長より認定証が手渡されました。

FujiQ News

水陸両用バス

YAMANAKAKO NO KABA

車輪とスクリューを備え、陸の上でも水の中でも走行が可能な「YAMANAKAKO NO KABA」。

四季折々の表情を見せる富士の麓の森林地帯を走行した後、「陸からそのまま湖に入る」という非日常的な瞬間を経て、いよいよ雄大な富士を望む山中湖を優雅にクルージングいたします。



■デザイン

車両のデザインは、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏によるもので、水と陸の両方で生活する動物の王者であり、古代エジプトの守り神でもあるカバをイメージしてデザインされています。

■ガイド

ミステリーツアー風の衣装を纏ったガイドがお出迎をし、ナビゲーター役のKABAとの絶妙な掛け合いをお楽しみいただける演出を施します。富士山や山中湖の大自然、文化的な背景等をお客様とのインタラクティブなやりとりで解き明かしていくことにより、一体感を持ってお客様にご参加いただけます。



兄弟バス「KABA BUS」も 元気に運行しております！

昨年8月に屋根のないオープンバス「KABA BUS」の運行を開始いたしました。富士山はもちろん、湖、森といった豊かな自然を体感するためにつくられました。天井のない開放感いっぱいの車内には、光や風とともに今まで見たことのない富士の姿が飛び込んできます。富士山の雄大さを体感するアトラクショナルな要素と富士山の魅力をガイドが案内する定期観光バスの要素を融合した新しい形の「周遊バス」です。



▲ KABA BUS



©2011 Gullane (Thomas) Limited

トーマスのパーティーパレード

富士急ハイランド内「トーマスランド」の人気アトラクション「ガタゴトだいぼうけん!」をリニューアルし、「トーマスのパーティパレード」として7月16日にオープン。

最恐戦慄迷宮リニューアル

富士急ハイランドが誇る世界最恐のウォークスルー型のお化け屋敷「最恐戦慄迷宮」が、2年ぶりに大幅なリニューアルを実施し、7月9日より「最恐戦慄迷宮- 禁断の旧病棟-」としてオープン。



ピカソのタマゴ 新アスレチック導入

「考えるアスレチック」『ピカソのタマゴ』に新たに5種類のアスレチックを導入し、7月16日にオープン。



さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト

© Paddington and Company Ltd 2010



ワイルドクッキングガーデン

バーベキュー等様々な野外料理を楽しめる関東最大級のデイキャンプ場「ワイルドクッキングガーデン」を4月28日にオープン。

森の迷路

迷路のテーマゾーン『森の迷路』を導入し、7月23日にオープン。

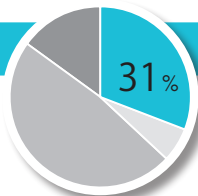
『森の迷路』は豊かな自然に囲まれた中で子どもたちが元気いっぱい遊ぶことができる迷路のテーマゾーンで、「ミラーメイズ」をはじめとする大小3種類の迷路が揃っています。

HIGHLAND RESORT Hotel & Spa

スカイバンケット「ティアラ」

富士の絶景を望む富士五湖エリア最上階の12階フロアを、ホワイエ（前室）及びブライダルリビング付きのバンケットルームとしてリニューアル。近年人気のリゾート型ウェディングや家族婚等といった多様化するニーズに応じていくため、人気のウェディング施設を数多く手がける建築デザイナーの川田ツトム氏に設計を依頼し、7月31日にオープン。





運輸事業

鉄道事業では、7月1日に富士吉田駅の名称を富士山駅に変更し、富士山の玄関口として自然環境に恵まれた「富士山に一番近い鉄道」富士急行線にふさわしい魅力的な公共空間として駅施設の一部をデザイナー水戸岡鋭治氏の全面的なサポートのもと、リニューアルするとともに、富士吉田市や商工会議所、地元商店街等と連携し、富士山駅を起点とした街めぐり散策ルートの整備や共同イベントを実施するなど地域の活性化に取り組みました。

また、JR東日本との連携を強化し、横浜線から初の直通列車「快速富士河口湖号」の運行や各種イベントに連携した記念入場券を販売するなど増収に努めました。

乗合バス事業では引き続き不採算路線の改善を行うとともに、近年静かな人気を呼んでいる一合目登山道からの富士登山に便利な馬返しまでの乗合バス運行を開始しました。

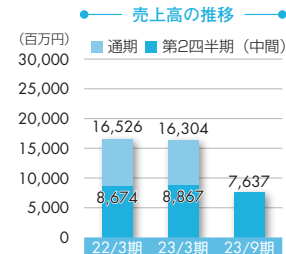
高速バス事業では、「大宮～河口湖線」でゴールデンウィークにあわせて池袋駅への乗入れを開始し新規顧客の掘り起こしに努めるとともに、国内外のお客様が利用する羽田空港と富士山・富士五湖とのアクセスを飛躍的に向上させる「羽田空港～富士山駅線」の運行を開始し、夏季登山シーズンには一部の便が富士山五合目まで乗入れました。

貸切バス事業では、4月に山中湖エリアにおいて陸上でも水上でも走行可能な水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」の運行を開始し、多くのお客様から好評を博しました。

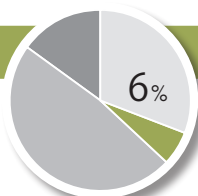
ハイヤー・タクシーなどの各事業を含めた運輸事業全体では、市場環境の急激な悪化に対し、主に貸切バスを中心として事業規模、営業体制の見直しに取り組んでおりますが、営業収益は76億37百万円（前年同期比13.9%減）となり、営業利益は3億14百万円（同60.0%減）となりました。



YAMANAKAKO NO KABA



富士山駅



不動産事業

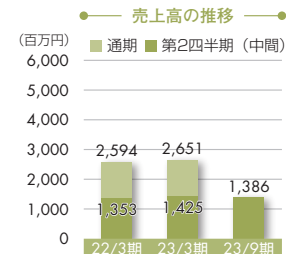
不動産販売事業では、引き続き山中湖畔別荘地において、大人の趣味・嗜好を追求できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズに、新商品の「煉瓦の森山中湖」、「木漏れ日の森」等を加えるとともに、訴求効果の高いWEBサイトをリニューアルし需要の喚起を図るなど積極的な販売活動を展開しました。また、夏季には別荘オーナー様を対象とした「パーカッションライブコンサート」など各種イベントの開催や前年より運行を開始し好評を博している「オーナーズバス」の運行ルートを延長するなど、CS及び利便性の向上に努めました。

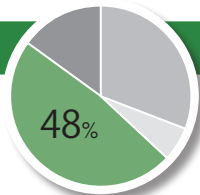
不動産賃貸事業では、事業用土地の有効活用として新たにロードサイドホテルへの賃貸を開始するとともに、既存施設は計画的な改修を進め、また、不動産別荘地管理事業ではメンテナンス工事の受注拡大を図るなど安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業全体の営業収益は13億86百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は4億200百万円（同3.5%増）となりました。



煉瓦の森





レジャー・サービス事業

遊園地事業では、7月に富士急ハイランドに5年ぶりの大型設備投資である最大落下角度世界一（ギネス記録認定）のローラーコースター「高飛車」を導入し好評を博しました。

富士南麓のゆうえんちぐりんぱでは、7月「ピカソのタマゴ」に新たな5種類のアスレチックを追加し集客に努めました。

さがみ湖リゾートプレジャーフォレストでは、4月に首都圏最大級のデイキャンプ場となる「ワイルドクッキングガーデン」を、また7月に迷路のテーマゾーン「森の迷路」を導入し、前年同期を上回るお客様にご来場いただきました。

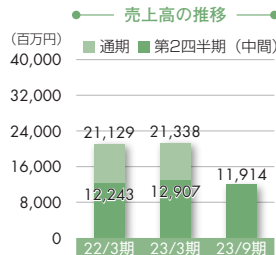
ホテル事業では、7月にハイランドリゾートホテル&スパ最上階の12階フロアにスカイバンケット「ティアラ」をオープンし、8月にはキッズルーム「トモミハウス」を新設し集客に努めました。富士本栖湖リゾートでは、4年目を迎えた「富士芝桜まつり」を4月下旬～5月後半まで開催しました。

物販・飲食部門の充実を図り集客に努めましたが、芝桜の一部に生育不良が見られたため、来場者数は前年を大きく下回る結果となりました。

株式会社ピカでは、静岡県における『小山町道の駅「すばしり」観光交流センター』などの飲食物販事業やさがみ湖パティントンベアキャンプグラウンドをはじめとするキャンプ事業において、前年同期を上回る多くのお客様にご利用いただきました。

また、夏でも洞窟内の温度が0～3℃という清涼スポットである富岳風穴・鳴沢氷穴では、多くのパブリシティを獲得し前年同期を上回るお客様にご利用いただきました。

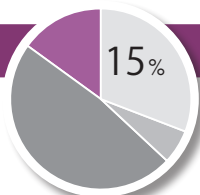
以上の結果、レジャー・サービス事業全体の営業収益は119億14百万円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は14億67百万円（同24.5%減）となりました。



高飛車



ワイルドクッキングガーデン



その他事業

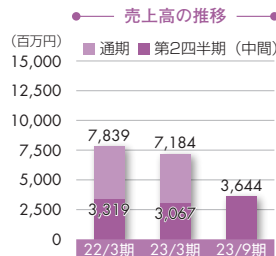
百貨店業では、富士山駅への駅名変更に合わせ、新たな富士山の玄関口である「Q-STATION」をリニューアルするとともに鉄道事業とのタイアップ商品「Q-STATIONお買物きっぷ」を発売するなど集客に努めました。

製造販売業では、富士ミネラルウォーターの販売が引き続き好調に推移したこと等により収益が向上しました。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は36億44百万円（前年同期比18.8%増）となり、営業利益は1億11百万円（同1億36百万円増益）となりました。



富士ミネラルウォーター



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		24,569	22,188
現金及び預金		10,733	8,884
受取手形及び売掛金		1,934	1,964
たな卸資産		10,292	10,022
その他		1,608	1,316
固定資産		64,860	64,780
有形固定資産		55,784	55,657
建物及び構築物（純額）		26,986	26,831
機械装置及び運搬具（純額）		6,033	6,652
土地		16,687	16,666
建設仮勘定		432	2,457
その他		5,645	3,050
無形固定資産		3,057	3,088
投資その他の資産		6,019	6,035
投資有価証券		4,040	4,172
その他		1,978	1,862
資産合計		89,430	86,969

科 目	期 別	当第2四半期 連結会計期間 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		24,235	24,068
支払手形及び買掛金		2,046	1,752
短期借入金		16,408	16,444
賞与引当金		394	415
その他		5,386	5,455
固定負債		48,652	46,813
長期借入金		39,316	39,673
退職給付引当金		1,054	1,092
その他		8,280	6,048
負債合計		72,888	70,882
(純資産の部)			
株主資本		16,076	15,624
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,417	3,417
利益剰余金		5,099	4,647
自己株式		△1,567	△1,566
その他の包括利益累計額		△119	△80
その他有価証券評価差額金		△119	△80
少数株主持分		585	543
純資産合計		16,542	16,086
負債・純資産合計		89,430	86,969



連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
	営業収益		22,558
営業費		20,273	21,586
営業利益		2,284	3,081
営業外収益		122	111
営業外費用		611	686
経常利益		1,795	2,506
特別利益		136	131
特別損失		213	1,277
税金等調整前四半期（中間）純利益		1,718	1,360
法人税、住民税及び事業税		818	1,042
法人税等調整額		△129	△676
少数株主利益		47	20
四半期（中間）純利益		981	974

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー		4,440
税金等調整前四半期（中間）純利益		1,718	1,360
減価償却費		2,408	2,305
その他損益等調整額		534	1,635
資産・負債の増減額		576	533
小計		5,237	5,834
利息の支払額等		△796	△964
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,027	△2,320
有形固定資産の取得による支出		△2,210	△2,518
その他		182	197
財務活動によるキャッシュ・フロー		△560	△333
借入金の増減額		△393	214
その他		△167	△548
現金及び現金同等物の増減額		1,852	2,215
現金及び現金同等物の期首残高		8,805	7,533
現金及び現金同等物の四半期（中間期）末残高		10,657	9,749

単独財務諸表



単独貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第111期第2四半期	第110期前事業年度
		(平成23年9月30日現在)	(平成23年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		22,256	19,299
固定資産		57,332	57,372
資産合計		79,589	76,672
(負債の部)			
流動負債		20,087	19,211
固定負債		44,221	42,400
負債合計		64,309	61,611
(純資産の部)			
株主資本		15,399	15,143
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,060	3,803
自己株式		△1,187	△1,186
評価・換算差額等		△120	△82
その他有価証券評価差額金		△120	△82
純資産合計		15,279	15,060
負債・純資産合計		79,589	76,672

単独損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第111期	第110期
		第2四半期 (累計)	第2四半期 (累計)
		(平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	(平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
営業収益		12,522	13,790
営業費		10,656	11,346
営業利益		1,866	2,444
営業外収益		164	213
営業外費用		578	590
経常利益		1,451	2,066
特別利益		32	9
特別損失		163	1,150
税引前四半期 (中間) 純利益		1,321	925
法人税、住民税及び事業税		535	741
法人税等調整額		△5	△581
四半期 (中間) 純利益		791	764

会社概況／株式情報

会社概要 (平成23年9月30日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成23年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内 光雄	取締役	尾崎 護
取締役社長 (代表取締役)	堀内 光一郎	取締役	石川 二比古
専務取締役	帆足 雅晴	取締役	小林 正幸
専務取締役	堀内 哲夫	取締役	井田 正久
専務取締役	福重 隆一	取締役	勝俣 一收
常務取締役	小泉 孝一	常勤監査役	高部 久夫
取締役	林 有厚	監査役	水田 力也
取締役	宇野 郁夫	監査役	岡本 和也
取締役	秋山 智史	監査役	芦澤 敏久
取締役	藤田 讓	監査役	

株式の状況 (平成23年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株主数	6,448 名

大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,633	9.69
富国生命保険相互会社	10,624	9.68
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
富士急行株式会社	2,962	2.70
みずほ信託銀行株式会社退職給付 信託 スルガ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.33
日野自動車株式会社	2,506	2.28
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25

※ 財団法人堀内浩庵会は平成23年10月3日に、公益財団法人堀内浩庵会となりました。

連結子会社の状況 (平成23年9月30日現在)

〔運輸部門〕

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)

- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

〔レジャー・サービス部門〕

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)

- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

〔不動産部門〕

- (株)富士急リゾートアメニティ

〔その他部門〕

- (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
- その他9社

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券

フリーパス引換券

高速バス乗車券

電車・バス全線 優待パス

35,000株以上

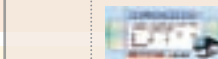
- 電車全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド
(1枚につき1名入園、5枚につ
きフリーパス1枚と引換)



× 40 枚



× 6 枚



× 4 枚

電車・バス
全線優待パ
ス(表示さ
れた持参人
1名)



× 1 枚

20,000株以上

- ぐりんぱ
(1枚につき1名入園、5
枚につきワンデークーポ
ン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト
(1枚につき1名入園、5枚につ
きフリーパス1枚と引換)



× 25 枚



× 5 枚

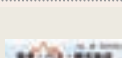
高速バス
乗車券



× 2 枚

10,000株以上

- スノータウンYeti
(5枚につき1日入場滑走
券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場
(5枚につきリフト1日券
またはゴンドラ往復券1
枚と引換)

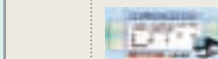


× 15 枚

- 遊園地フリーパス
(富士急ハイラン
ド・ぐりんぱ・さが
み湖リゾートプレジ
ャーフォレスト)
- スキー場一日券
(スノータウン
Yeti・あだたら高
原スキー場)



× 4 枚



× 1 枚

5,000株以上

- 初島アイランドリゾート
(1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山
ロープウェイ
(1枚につき1名乗車(往
復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊
覧船・本栖湖遊覧船
(1枚につき1名乗船)



× 10 枚



× 3 枚

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス
富士五湖線・富士山五合目線・甲
府線及び東名高速バス東京駅～河
口湖線の当社便に限りご利用いた
だけます。

3,000株以上

- 初島航路
(1枚につき1名乗船(片道)、
2枚につき1名乗船(往復))
- フジヤマミュージアム
(1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉
(2枚につき大人1名入館、
1枚につき小人1名入館)



× 7 枚



× 2 枚

1,000株以上



× 1 枚

施設割引券

ハイランドリゾート
ホテル&スパ
ホテルマウント富士

1枚につき1室室料
20%または自社企画
宿泊商品10%割引

2枚

ホテルマウント富士
プール割引券

20%割引 (1枚に
つき4名まで)

富士宮富士急ホテル
甲府イーストサイド
ホテル

2ホテル共通1枚に
つき1室室料20%
または自社企画宿
泊商品10%割引

5枚

富士急グループホテ
ル 飲食割引券

レストラン・バー、
食事付入浴10%割
引 (1枚につき4名
まで)

富士ゴルフコース

所定プレー料金か
ら2,000円割引 (1
枚につき4名まで)

ゴルフパーク
[Bandi]

バック料金から1,000
円割引、土・日・祝日
2,000円割引 (1枚に
つき4名まで)

1枚

大富士ゴルフ場

所定プレー料金か
ら2,000円割引 (1
枚につき4名まで)

ふじやま温泉

入館料 平日大人
750円 小人400円
土日 大人1,000
円 小人500円 (1枚
につき4名まで)

PICA山中湖ヴィレッジ

コテージ1棟 (素泊
り) 10%割引 レス
トラン「FUJIYAMA
KITCHEN」5%割引

2枚

PICA富士吉田・
PICA富士西湖・キャ
ンピカ富士ぐりんば

1枚につき1泊1室
10%割引

富士ミネラルウォーター

1枚につき20%割
引 (1ケース以上)

1枚

富士急トラベル

パッケージ旅行代
金の5%割引 (1枚
につき4名まで)

2枚

富士急ハイランドボ
ウリング場

1ゲーム350円 (1
枚につき4名まで)

富士急オートサービス

車検・点検・整
備 工賃10%割引

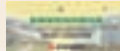
1枚

長期保有特別優待券



× 3枚

「ハイランドリゾート
ホテル&スパ」「ホテ
ルマウント富士」の
指定するツインルー
ム室料100%または
ホテル内レストラン
利用料30%割引券



× 2枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について

・長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごと**に発行しております。**(3年に1度の発行となります。)** 相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

・長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。
その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
Tel.0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先
上場証券取引所 東京証券取引所
公告方法 東京都において発行する日本経済新聞に掲載

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号

東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyū.co.jp/>



本誌は再生紙を使用しています。